

PrivateLLM 構築士

3 級 公式シラバス

Private LLM Engineer Certification Level 3

ver.1.0 2026 年 2 月 プライベート AI 推進協会 (PAPA)

| 項目 | 内容 |
|-------|-------------------------------|
| 資格名 | PrivateLLM 構築士 3 級 |
| 主催団体 | プライベート AI 推進協会 (PAPA) |
| 受験対象 | AI に興味のあるビジネスパーソン全般 (IT 経験不問) |
| 難易度 | IT パスポートレベル (独学 1~2 週間で合格可能) |
| 試験形式 | オンライン択一式 (40 問・60 分・4 択) |
| 合格基準 | 正答率 70%以上 (28 問以上正解) |
| 受験料 | 8,000 円 (税込) |
| 有効期限 | 2 年間 (更新試験あり) |
| 公式サイト | privatellm.jp |

1. 試験の目的と背景

企業や組織が生成 AI を活用する際、情報漏洩リスク・コスト・コンプライアンスの観点から「クラウドにデータを送らずに社内で動かす AI (プライベート LLM)」の需要が急拡大しています。

しかし、プライベート LLM の概念・仕組み・導入判断を正しく理解できる人材は極めて少なく、企業の DX 推進を阻む要因の一つとなっています。

PrivateLLM 構築士 3 級は、AI の技術的な知識がなくても「プライベート LLM とは何か」「なぜ必要か」「どう導入を判断するか」を正しく理解・説明できる人材を認定する試験です。

2. 対象受験者

以下のいずれかに該当する方を主な対象とします。

- 中小企業の経営者・役員・管理職で AI 導入を検討している方

- 社内の DX 推進・情報システム担当で AI の基礎知識を習得したい方
- 営業・企画・マーケティング職で AI 活用の提案力を高めたい方
- IT コンサルタント・士業で AI 関連の相談に対応したい方
- AI に興味があり、資格取得を通じてキャリアアップを目指す方

※プログラミング・IT 専門知識は一切不要です。

3. 出題範囲（シラバス）

試験は以下の 5 つの分野から出題されます。各分野の出題比率は括弧内の通りです。

分野 1: プライベート LLM の基礎概念（25%・約 10 問）

| 学習項目 | 具体的な内容 |
|----------------|---|
| LLM とは何か | 大規模言語モデルの定義・仕組みの概要・代表的なモデル（GPT・Llama・Gemma 等） |
| クラウド LLM との違い | クラウド型・ローカル型・ハイブリッド型の特徴と使い分け |
| プライベート LLM の定義 | オンプレミス・閉域環境での LLM 運用の意味と特徴 |
| なぜプライベートが必要か | 情報漏洩リスク・法規制・コスト・カスタマイズ性の観点 |
| 主要なオープンソースモデル | Llama・Mistral・Gemma・Qwen 等の概要と特徴 |

分野 2: セキュリティ・コンプライアンス（20%・約 8 問）

| 学習項目 | 具体的な内容 |
|--------------|----------------------------|
| 情報漏洩リスク | クラウド AI 利用時のデータ送信リスクと漏洩事例 |
| 個人情報保護法・GDPR | AI 利用における個人データ取扱いの基本ルール |
| EU AI Act | EU AI 規制の概要とプライベート LLM の関係 |
| 社内 AI ガバナンス | AI ポリシー策定・利用ガイドラインの考え方 |
| 業種別規制 | 医療・金融・行政・法律分野での AI 利用制限の概要 |

分野 3: 導入判断と費用対効果（20%・約 8 問）

| 学習項目 | 具体的な内容 |
|--------------|-------------------------------------|
| 導入検討のフレームワーク | プライベート LLM 導入が適しているケース・適さないケースの判断基準 |
| コスト比較 | クラウド API コスト vs オンプレミス初期投資・運用費の |

| | |
|-----------|----------------------------|
| | 考え方 |
| 必要なハードウェア | GPU・メモリ・ストレージの基礎知識（選定の考え方） |
| ROI の考え方 | 業務効率化・リスク低減・コスト削減の試算方法 |
| 導入ステップ概要 | PoC → 検証 → 本番導入の基本的な流れ |

分野 4: 主要ツール・技術の概要（20%・約 8 問）

| 学習項目 | 具体的な内容 |
|-------------------|---------------------------|
| Ollama | ローカル LLM 実行環境の代表ツール・用途・特徴 |
| RAG（検索拡張生成） | 社内文書を AI に学習させる仕組みの概要 |
| 量子化（Quantization） | モデルの軽量化技術の概要と目的 |
| Dify / LibreChat | プライベート LLM のフロントエンドツールの概要 |
| API 連携の基礎 | LLM をシステムと繋げる仕組みの基本概念 |

分野 5: ビジネス活用事例（15%・約 6 問）

| 学習項目 | 具体的な内容 |
|----------------|-----------------------------------|
| 業種別活用事例 | 製造・医療・法律・金融・小売・行政でのプライベート LLM 活用例 |
| 社内 FAQ・チャットボット | 社内ナレッジを AI 化するユースケース |
| 文書要約・レポート生成 | 業務文書を AI で自動処理するユースケース |
| マルチモーダル活用 | 画像・音声を含む AI 処理の概要 |
| 失敗事例と対策 | 導入失敗パターンと回避策 |

4. 試験の詳細

| 項目 | 内容 |
|------|-------------------------|
| 出題数 | 40 問（全問必須） |
| 試験時間 | 60 分 |
| 出題形式 | 4 択択一式（正解は 1 つ） |
| 受験方法 | オンライン（自宅・会社の PC から受験可能） |
| 合格基準 | 70%以上（28 問以上正解） |
| 試験結果 | 受験終了後、即時スコア表示 |

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 認定証発行 | 合格後、privatellm-cert.com にてデジタル認定証を発行 |
| バッジ発行 | LinkedIn・名刺等に使用可能なデジタルバッジを発行 |

5. 学習方法と推奨学習時間

| 学習フェーズ | 内容 | 推奨時間 |
|--------|---------------------|--------------------|
| 基礎理解 | 公式テキスト（無料 PDF）を一読する | 3～4 時間 |
| 分野別学習 | 各分野の重要用語・概念を整理する | 4～6 時間 |
| 問題演習 | 公式サンプル問題・模擬試験で実力確認 | 3～4 時間 |
| 弱点補強 | 間違えた分野を重点的に復習 | 1～2 時間 |
| 合計 | | 約 10～16 時間（1～2 週間） |

公式テキスト・サンプル問題は privatellm.jp より無料ダウンロード可能です。

6. 資格の活用方法

- 名刺・LinkedIn プロフィールへの記載
- 社内の AI 導入提案書への信頼性付与
- 顧客への AI コンサルティング提案の裏付け
- PrivateLLM 構築士 2 級受験への足がかり
- 認定講師資格取得への第一歩（講師資格は 2 級以上が条件）

7. 上位資格との関係

| 資格 | 対象者 | 主な内容 |
|----------|-----------------|-------------------------------|
| 3 級（本試験） | ビジネスパーソン全般 | 概念理解・導入判断・活用事例 |
| 2 級 | IT 担当者・エンジニア | Ollama 構築・RAG 実装・量子化・セキュリティ設計 |
| 1 級 | 上級エンジニア・コンサルタント | マルチモーダル・ファインチューニング・企業導入設計 |

| | | |
|------|-----------|-----------------------|
| 認定講師 | 2 級以上の取得者 | 他者への教育・研修実施・フランチャイズ展開 |
|------|-----------|-----------------------|

8. 問い合わせ

公式サイト: <https://privatellm.jp>

認定証確認: <https://privatellm-cert.com>

主催団体: プライベート AI 推進協会 (PAPA / Private AI Promotion Association)

本シラバスの内容は予告なく改訂される場合があります。最新版は公式サイトをご確認ください。